

## ◇ 松医会のページ ◇



—信州大学医学部同窓会—

## 医学部と附属病院の土地・建物事情

平成21年5月に新外来棟がオープンしました。学生時代（信27, 昭和50年入学）からの建物が徐々に建て替えられるのは、うれしい反面少し寂しい気持ちもあります。北病棟, 南病棟, 中病棟（冷房のない全国でもめずらしい病棟）はすでになくなり、東病棟と西病棟に変わっています。今年中には旧外来棟も壊される予定ですので、20年前と比べると大きく様変わりしたことになります。

昔のままの建物は、臨床棟, 基礎棟, 講義・実習室（基礎講義棟）や解剖棟などですが、臨床棟は耐震補強工事が半分終了したので、東半分は新築のようにきれいです。内部も煙草のヤニで壁が真っ黒で、ゴキブリが飛び交うイメージはなくなりました。まもなく西半分の工事が始まりますので、来年の春には完全に新しい臨床棟に生まれ変わります。

臨床棟の東にあった、第1および第2臨床講堂も耐震工事が行われています。第2臨床講堂で行われていた昔ながらの臨床講義は、患者プライバシー保護のため現在行われていません。5年生になり臨床講義を受けた時の少し新鮮で誇らしい気持ちを思い出させる階段教室も、フラットな近代的な講義室に生まれ変わる予定です（図1）。ただ、内装を充実させる資金が不足しています。後輩の学生によりよい学習環境を提供したい気持ちは同窓会の皆様同じと思います。医学部・松医会が中心となり、臨床講堂改修のための募金活動

を行いますのでよろしくご協力お願いいたします。

今、医学部・附属病院が抱える土地問題の1つに駐車場があります。20数年前の学生の車保有率は30%位でした。その当ても車を学内に駐車するのが大変で、どうしてこんな田舎で駐車場に苦勞しなければならないのかと思った記憶があります。松本が田舎であるかはさておいて、松本キャンパスでは常に駐車場問題が存在することは確かです。

現在、朝8時頃から、大学周辺の道路で渋滞が生じ、病院の駐車場に入るのに1時間以上かかったと患者さんに言われることも稀ではありません。医学部・附属病院も対策を講じるのですが、駐車場が増えると車が増えるというイタチごっこで、解消されることはありません。医学部グラウンドを職員駐車場として患者駐車場を広げた時に、駐車場問題は解決したと思いましたが、しかし、現在も旭町キャンパス内の道路に、違法駐車（この表現でよいのか？）の車が溢れています。

立体駐車場構想なども出てくるのですが、独立法人化したのに許可がもらえず（資金もないのですが）実現には至っていません。また、学外に公営もしくは民間駐車場という案もあるのですが、具体化には程遠いようです。そんな中、大学本部には医学部グラウンド（現駐車場）を緑地化して、学生・職員の憩いの場にするとの構想が出現しているようです。病院駐車場をどうするかは問題にならず、車で大学に来なければよいとの意見が大勢を占めます。患者駐車場問題はこれからの医療情勢によっては大きな問題かもしれません。

基礎棟は、耐震強度が臨床棟より少しよいために耐震工事はかなり遅れます。20億円とか30億円をポンと寄付してくれるような人がいれば、医学部・附属病院が抱えている建物問題の多くは解決するように思います。ただ、すべて立て直されたら赤煉瓦の建物に思い出のない私にはやはり寂しいかもしれません。

（文責 松医会理事 病態解析診断学（臨床検査部）

本田 孝行）

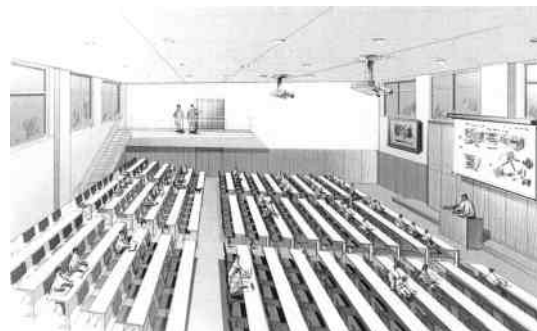


図1 第1臨床講堂（左）、第2臨床講堂（右）の完成イラスト（7月2日の松医会の会合で出された物）